発行：浦添市環境保全課　令和４年２月28日

カーミージー周辺海域自然環境再生

カーミージーニュースレター　第２号

浦添市西海岸のカーミージー一帯は、古来より地域住民の生活の場、信仰の場として利用されてきました。そんなカーミージーの周辺海域では近年、一部のサンゴの死滅が確認され、また沖縄西海岸道路の開通によりアクセスが容易となったことで、来訪者の増加とともに海洋生物の乱獲も増加し、海洋生物の減少が課題となっています。

浦添市では、これらの課題に対処するために、自然環境再生事業を立ち上げ、令和元年度に基礎調査、令和２年度に自然環境再生全体構想を、浦添市里浜保全活用促進協議会（以降協議会）とともに策定してきました。

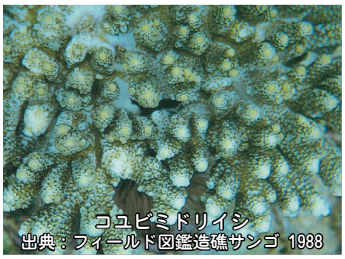
本ニュースレターでは、自然環境再生事業の最終年度となる令和３年度の取り組みの実施概要として「サンゴ礁再生に向けたサンゴの植え付け」の現状と、「意識啓発活動の実施」で作成した啓発看板の設置について紹介します。

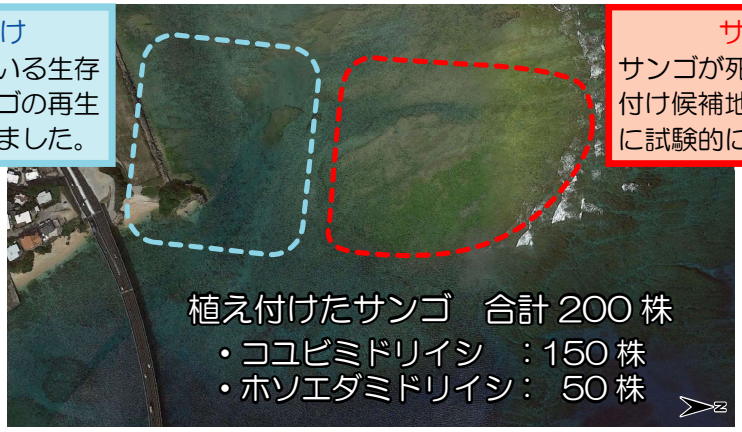
● サンゴの植え付けについて

サンゴの植え付けは、実施計画に基づいて「令和３年10月」に２箇所の条件を持つ範囲に、合計200株のサンゴを植え付けました。

経年的サンゴ植え付け
過去に植え付けの行われている生存率の高い海域で確実なサンゴの再生をめざし植え付けを実施しました。

サンゴ群集死滅範囲
サンゴが死滅した範囲で、新たな植え付け候補地となる場所を確認するために試験的に植え付けを実施しました。





サンゴの植え付けから約３か月が経過した植え付けサンゴの種類別の生存率と成長率をみると、生存率については、ホソエダミドリイシが高く、成長率ではコユビミドリイシが高い結果となりました。
今後は、下表に示す再生目標を定め、段階的な評価を実施しながら順応的な管理を行っていきます。

	生存率	平均成長率
ホソエダミドリイシ	98.0%	102%

	生存率	平均成長率
コユビミドリイシ	90.7%	114%

短期目標（３年後）	植え付けたサンゴの40%が生存し、３倍の大きさに成長する。
中期目標（５年後）	植え付けたサンゴの30%が生存し、５倍の大きさに成長する。
長期目標（10年～20年後）	10年～20年後に10センチ～数十センチに成長したサンゴ群体が点在し、サンゴ礁を棲み家とする多様な海洋生物が生息する環境がみられること。目標達成には今後も植え付け等の取り組みを継続して実施していくことが必要。

● 意識啓発活動の実施（啓発看板の設置）

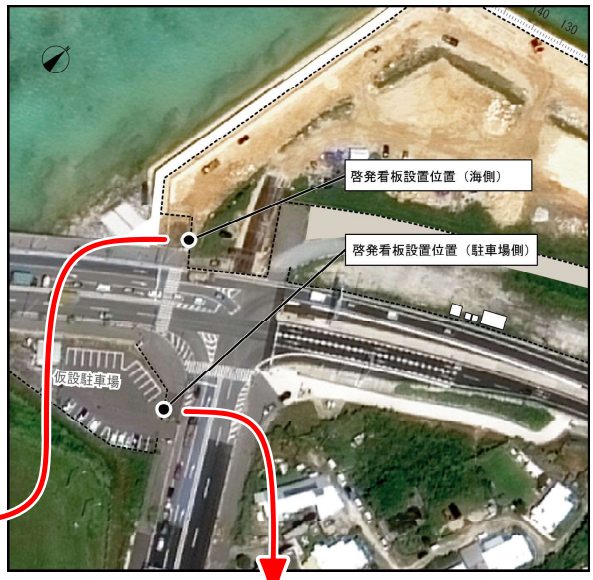
意識啓発活動の実施として、以下に示す啓発看板を作成し、カーミージー海岸の２か所に看板を設置しました。

啓発看板は、自然環境再生上の課題として挙げられている海岸生態系保全のためのごみ捨て禁止やごみの持ち帰りに関する内容と、貝類等の海生生物の大量採捕に関する内容を示した啓発看板としました。

啓発看板の内容は、カーミージー海域の自然環境の大切さについて幅広く周知することを目的に、イラストを中心とした内容を図案化し、浦添市里浜保全活用促進協議会の委員の意見を踏まえて啓発看板を完成させました。

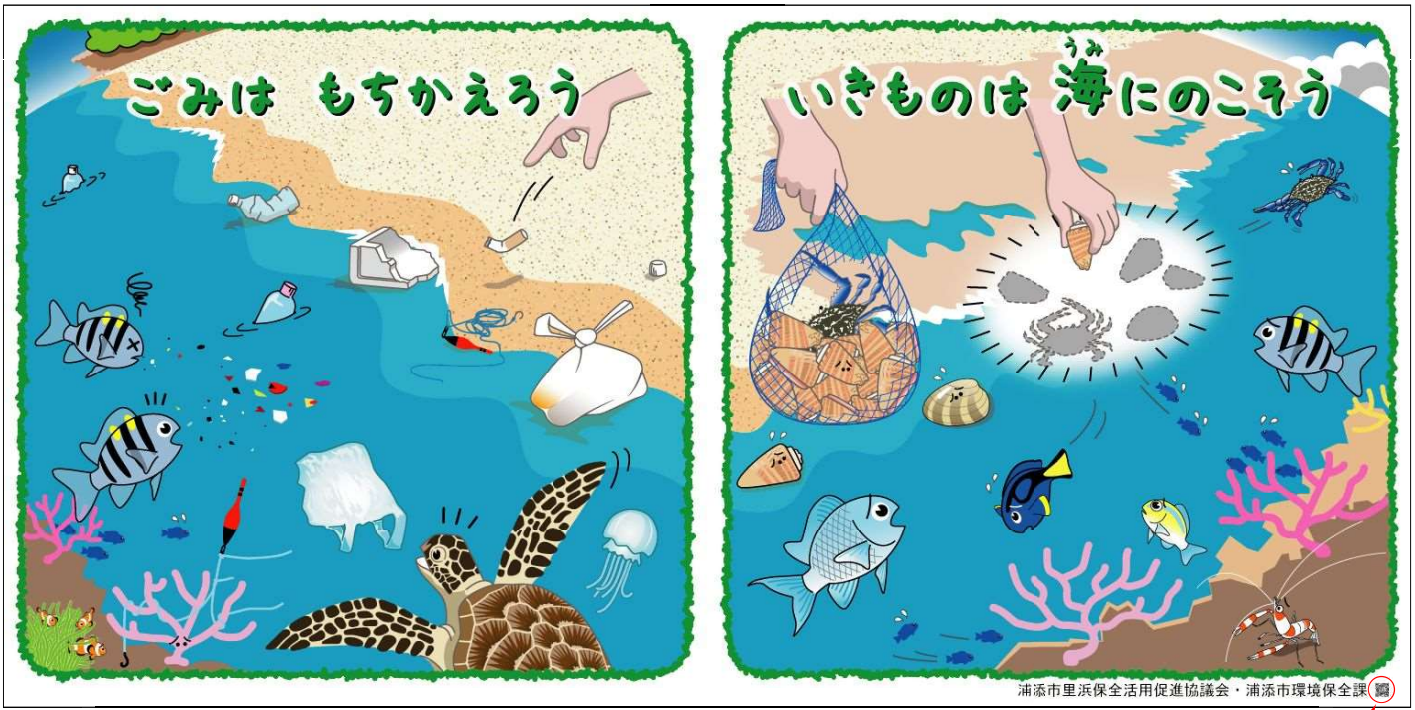
看板の設置場所は、カーミージー海岸を利用する人々が移動するルート上や、交差点で一時停車する車中からも、目に付きやすい場所と高さを考慮して決定しました。

▶ 看板の大きさ：高さ１ｍ× 幅２ｍ



海側へ設置した啓発看板

駐車場側へ設置した啓発看板



▶ 枠外の記載内容について

・看板設置主体：浦添市里浜保全活用活用促進協議会・浦添市環境保全課
・QR コード　：「浦添市里浜の保全及び活用の促進に関する条例」にアクセスします。

■お問合せ■　浦添市市民部 環境保全課　担当:上地・島尻　TEL:098-876-1234(内線 3221)